2020年10月号 VOL.20

港区議会議員

区民相談はお気軽に！

池田たけしNEWS

一人のために、地域のために

KOMEITO 公明党
発行所：〒107-0052 港区赤坂6-7-14-608　TEL&FAX：03-6230-9441
発行日：2020年10月20日　URL：https://ikeda-takeshi.net

活動報告

2020.7.29 緊急要望書提出

区議団で新型コロナ感染予防についての緊急要望書を武井港区長に提出。
接待を伴う飲食店への立ち入り指導、PCR 検査の実施、協力金の検討などについて要望しました。

200.7.29 御成門小視察

教育現場における新型コロナ感染予防対策で御成門小学校を視察しました。
校舎入り口でサーモグラフィでの体温測定、登校時学年別の動線、校内での諸対策などを伺いました。

2020.8.4 エンジョイディナー事業視察

ひとり親家庭の支援策として夕食にお弁当を配布する「エンジョイディナー事業」を視察しました。利用者の方の喜びの声と共に、事業者の方も社会貢献の喜びを語っていました。

議会報告　令和２年第３回港区議会定例会　暮らしの安全・安心のために質問・提言！

代表質問　感染症予防対策

Q 訪問介護事業者の在宅での感染予防対策について

A 導入した感染症専門アドバイザーが民間への研修を実施、相談体制を整える。

新しい日常での学校行事

Q 新しい日常で生徒の人格形成、絆を深める学校行事をどのように行うのか。

A 遠足、運動会、文化祭などは重要な教育活動であり、蜜を避けた実施を学校現場、感染症専門アドバイザーと共に検討します。

決算特別委員会

総務費　特殊詐欺（オレオレ詐欺、アポ電）被害防止

Q 対策としてさらに高齢者周辺への周知啓蒙を行うべき。

A 現在 1,316 台出している自動通話録音機をさらに推進、ツイッター発信や警察と連携し街頭でも呼びかけを行う。

総務費　偏見や差別への対応、対策

Q コロナ禍での偏見や差別に対して、区は人権擁護の対応、発信をすべき。

A あってはならない旨を区掲示板、広報紙、ホームページ、ツイッターに掲載、人権相談を紹介、先進自治体の取組みを今後に活かします。

環境清掃費　喫煙場所と視覚効果型禁煙表示

Q 喫煙所の地域偏在の解消、密閉型の増設、効果的な禁煙表示を取り入れるべき。

A 助成の周知など地域連携し整備に取り組む。事例を参考に環境整備に努める。

民生費　人生会議について

Q 人生の最終章を自分らしく送るために区はどのように取り組むのか。

A 在宅療養相談窓口で医療・療養の相談を受け、人生の総仕上げを支えます。

民生費　在宅介護での家庭内状況

Q コロナ禍での在宅介護の負担から起こる介護疲れ、虐待の防止に対応すべき。

A 介護家族の会などを支援、相談センターやふれあい相談員ときめ細かく連携し支援します。

衛生費　自殺防止対策

Q 増えている自殺防止のための対策とゲートキーパーの養成を推進すべき。

A 区の計画の重点項目として予防策を推進し、キーパーリーダー研修を実施します。

衛生費　がん検診勧奨と新方式の導入

Q 早期発見のための検診勧奨と特定健診を同時受診可能とするオプトアウト方式の導入検討を。

A 受診推進を個別勧奨で行い、実情に合わせ効果的な受診率向上策を検討していく。

教育費　学校健診のデータ利活用

Q データ化しパーソナルヘルスコードとして政策に利活用すべき。

A 教育部会、保健主任会で共有し生涯を通じての健康保持育成に取組む。

総括質問　「ちぃばす」の利用促進と収益向上

Q SNS でのプロモーション、グッズの展開で利用促進と財政寄与を図るべき。

A デジタルツールで利用につながる情報発信、グッズの調査検討を行います。

港区議会公明党が推進しました!（令和2年第3回定例会）

ひとり親家庭へエンジョイディナー！

区議会公明党は6月にコロナ禍で生活に困窮するひとり親家庭に対する支援を訴えて参りましたが、区では７月１３日から、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済的影響の大きい、ひとり親家庭等の生活再建が円滑に進むよう、家計と家事の負担を軽減し、親子が団らんして栄養バランスの取れた食事の機会を提供するエンジョイ・ディナー事業を始めました。
利用者からは忙しい中で食事をつくる負担が軽くなり、子どもに栄養ある食事を与えることができ、温かな支援に感謝していると声をいただいています。期間は１２月２５日まで。

給付型奨学金など創設！

提言で港区奨学金が大きく前進！
新型コロナの影響で家計の急変した世帯に、給付型奨学金の創設や 大学生向けの奨学金の緊急採用・増額の実施などを5月に要望しました。
この要望に区が応え、令和3年4月より国の奨学金制度に区独自の上乗せし、年収約380万円の世帯まで約142万円の支援を受けられるようにする
ほか、支援対象の世帯を年収約480万円までと広げました。

対象は保護者が区内に住んでいる世帯で、進学者、在学生も対象。
また貸与型奨学金も条件を満たした場合に卒業後6年目以降の返還金を免除とします。

税金・窓口手数料のキャッシュレス決済化！

行政手続き上のキャッシュレス化を進めることは、コロナ禍での人と人との接触機会を減らすことや、確実な収納、区職員の負担軽減等につながります
。国を挙げての行政のデジタル化が推し進められていますが、港区議会公明党はいち早く、昨年９月決算特別委員会で区民税などのスマホ決済導入を、今年３月予算特別委員会で窓口手数料のキャッシュレス決済導入を提案し、今年度中に実現の運びに！

LINEやTwitterなどSNSを活用した情報発信！

SNSの利用は、ライン、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムの順に多いことから、ＬＩＮＥアカウントを活用した観光情報やイベント情報、区のお知らせ等を配信することを検討すべきと質問！2018/11/29（平成30年第4回定例会）
その結果、各地区総合支所や各支援部ごとのツイッターが充実し、さらに、10/1より港区 LINE公式アカウントを開設し、緊急情報（災害・防災情報など）、イベント情報、くらしの情報（区が行う支援やお知らせなど）の配信を開始。
必ず配信される緊急情報に加え、利用者は受信したい情報を選択し、必要な情報を適切かつ効率的に得ることができます。

不妊治療費助成のコロナ対応が実現

国は、新型コロナの感染拡大で不妊治療の延期を余儀なくされるケースを想定して、国が実施する不妊治療費助成の年齢上限を緩和し、治療開始時の妻の年齢を「43歳未満」から「44歳未満」に引き上げる措置を、時限的に実施しています。

港区は、区独自の不妊治療費助成について、来年度より「妻の年齢が４3歳未満」との年齢制限を設ける予定でしたが、本年９月の港区議会決算委員会にて、今年度不妊治療を開始して来年度治療を継続する場合には、国の対応にならい柔軟に対応するよう訴えた結果、区の要綱が改定され今年度コロナ感染防止の観点から治療を延期した場合に限り、来年度妻が４３歳でも助成の対象に！

高齢者・障害者施設への無料 PCR 検査！

高齢者施設等への公費による PCR検査の補助が実現へ！
第３回定例会代表質問並びに令和元年度決算特別委員会＜総務費＞において、高齢者施設等への公費（全額補助）による PCR検査体制の構築を求め質問してまいりました。
その結果、東京都が補正予算として成立した、独自の全額補助による高齢者・障がい者施設等における PCR検査対象となる施設等に対して、区は、主体的に実施する PCR検査の費用を助成することや、補助対象外とされる予定の範囲を含め効果的な支援策について早期に検討していくとの答弁を引出すことができました。

お役立ち情報 INFORMATION

区民相談
お気軽に
ご連絡ください。

池田たけし
ホームページ

みんなと安全安心メール
を配信しています。
是非ご登録ください。

みんなと安全安心
メール登録サイト

港区
の最新情報を
ご確認ください。

港区
ホームページ